

2025
vol.65
9

HAREBARE

晴ればれ

仲間とともに
産地を盛り上げる

特集／
全力で米を集めます！

生産部会紹介／
津山ぶどう部会

広報1年生が行く／
女性部 新見地区の
ほうとう団子づくり

直売所だより／
高粱グリーンセンター



笠岡市で祖父の代から続くブドウ農家の3代目となる石丸哲平さん。前職の工場勤務をしていた頃から、ブドウ栽培を手伝っていました。昨年からは本格的に父から習い、シャインマスカットをはじめ、ピオーネ・オーロラブラックの栽培に取り組んでいます。

ぶどう塾の同志が励み

J Aの「ぶどう塾」に入り、2年目になります。この塾は新規就農して5年以内の人が対象で、現在8人が在籍。栽培管理には集中力と根気が必要ですが、同じ想いで取り組む仲間がいることは励みになります。ともに産地を盛り上げていこうと切磋琢磨しています。

おいしいブドウをつなぐために

祖父から受け継いだ35㍓のほ場を父と二人で未来へつないでいくため、自分も少しずつ栽培を手掛けるようになりました。

さまざまな経験と工夫を重ね、よりよいブドウを育てていきます。

若手生産者を紹介

シャインマスカット研究会
いしま じへい
石丸 哲平さん (45)



仲間とともに
産地を盛り上げる

袋掛け前に粒を間引く

いと考えています。手にした方が「おいしい」と言ってくれるよう、困難なことにも解決策や適切な方法を探りながら、高みを目指して取り組む毎日です。

ブドウ農家の3代目として

ブドウ農家の間で師匠と呼ばれる父。手伝いをしていた頃から、父のもとには農家の仲間たちが技術を聞きに、絶え間なく訪ねてきていました。自身が知り得る全てを伝えている父の姿を見て、少し驚きました。「同じ作物を栽培する仲間でありライバルにもなる者同士、なかなかノウハウを明かさない」というイメージを持っていた自分にとって特別な存在でした。産地を守る父の後を継ぐブドウ農家になるために、これからは父からたくさん学ぶながら仲間とともに産地を盛り上げていきます。

このページのお問い合わせは笠岡アグリセンター(08656615010)まで

全力で米を集めます！

今年の米の収穫が間もなく始まります。収穫を前に、JAの役職員が各地の担い手のもとへ直接足を運ぶ訪問活動を実施中です。今年の生育状況、作柄や出荷の見通しなどを確認し、集出荷の方針や想いを共有。農家とJAがしっかりタッグを組んで米の安定供給に取り組めます。

写真＝内藤敏男組合長が勝英地区の担い手農家を訪問し、出荷への協力をお願いしました

担い手訪問への想い

これまで米価低迷や生産コスト上昇を背景に民間業者の攻勢に押され、当JAの集荷率は3割ほどにとどまっています。令和の米騒動を受け、もう一度、原点に立ち帰り、食料・農業に貢献するJAとしての役割をしっかりと発揮していこうという認識のもと、組織をあげて2025年産米の集荷運動に取り組むこととしました。

これは自己改革に掲げる「農業者の所得増大」を生産者目線で実践するため、「対話」を通じたニーズ把握の取り組みでもあります。担い手農家・集落営農組織や農業法人など地域農業をリードする農家組合員の方々と目標の共有を図り、営農経済渉外員・営農指導員などと一体で、総合的支援活動の充実を目指すものです。

対話からはじまる

「んぼの中で話す」

米を
ます。



J A の役割とは

そもそも協同組合とは組合員が主人公の組織であり、組合員のニーズ・願いをかなえることをその役割としています。特に今日では「農業所得の増大」と「安全安心な国産農畜産物の安定供給」を最大の使命と認識し、事業運営の根幹と考えてい

ます。その上で委託販売による共同精算を基本とした集荷・販売に取り組んでいます。系統先だけでなく、友好関係のある卸売業者とも連携を強化するほか、玄米・精米の直接販売に取り組むことで収益性を高め、農家手取りの最大化を目指しています。販売がすべて終了した時点で最終精算による追加払いを行います。その価格は決して民間業者に劣っていないと自負しています。

今年の新米は9月下旬には販売できる見込みです。「農業振興の応援団」に位置付ける准組合員のみなさまには「元気玄米」を年間予約いただくことで安定してご提供しますので、引き続きご利用いただき米の生産を支えてくださいますようお願いいたします。併せて直売所での対面販売「農協精米」「つきたてお米市場」にも積極的に取り組み、消費者と生産者をつなぐ拠点として販売促進と消費拡大に取り組んでいきます。

2025年産米の集荷に向けて

2024年産米の概算金は全国的に見ても最高水準の価格で、概算金をお支払いしています。その後の米価上昇を踏まえながら各取引先(卸業者等)と交渉を重ね、農家手取りのさらなる上積みにつながるよう販売を進めてきたところです。2025年産米の集荷に向けては、収穫前から競

争が激化し、全国のJ Aでは平年より早い段階で概算金を設定するなどの動きも出ています。こうした中、当J Aとしては今年の収穫を前に、通常の最終精算とは別に2024年産うるち米の「追加払い」を7月末に実施しました。

なお、すべての販売が終了し、販売価格や販売・流通などにかかった費用が確定しましたら、通常通り、最終精算を実施します。最終精算を待たずに追加払いをするのは初めての取り組みであります。引き続き農家手取りの最大化に向け、2025年産米の集荷拡大につなげたいと考えています。

2025年産米の概算金は、8月末の理事会で承認後、速やかに出荷契約者の方々に向けて金額を提示します。安定した販売と市場形成のため、1俵でも多くの出荷にご協力をお願いします。

J A の営農指導や検査体制

検査員資格を持つ職員282人を中心に役職員をあげて集荷に取り組みます。従来の委託販売方式や買取販売方式の取引を提示し、農家個々の要望にお応えできるよう、きめ細かい相談にのります。大口農家やミニライスセンター運営者を対象にした出荷奨励金やフレコン貸出(有償)も実施し、J A出荷のメリットとして周知します。



出荷の前に
想いを
聞きました

勝英にじのきらめき部会
どい もりお

土井 盛夫さん(72) (津山市勝北地区)

栽培状況 水稻栽培：約30ha【主食用(きぬむすめ・にじのきらめき・コシヒカリなど)・加工米・飼料米】／小麦：約6ha／白大豆：約4ha など

集荷は

「顔を合わせ、田
それがJAの原点。
今年もおいしいお
しっかり受け取り

担い手との対話を受けて

米の集荷・販売を通じて組合員や消費者のみなさまから「JAはなくてはならない」「JAは必要だ」と言ってもらえるよう、これからも実直に組合員の負託に応え、

信頼を高めていかなければならないと感じています。

日頃感じておられることや課題などさまざまな意見やご要望を直接聴くことができました。一つでも解決できるよう取

り組んでまいります。

2025年産米の出荷に関するご相談やお問い合わせは、お近くの基幹アグリセンターまでご連絡ください。

長期的な視野で共同販売 これからもJAに任せる

今年の稲の生育状況は

約30分の水田で「きぬむすめ」や「にじのきらめき」などを中心に栽培しています。今のところ生育は順調に進んでいますが、雨が少なく、今後に不安も感じています。昨年も水不足で苦労したため、同じ失敗を繰り返さないよう、水の管理など自分でできる範囲のことをこまめに行っています。

出荷に向けて

今までやってきた中で、やはりJAへ出荷するのが一番だと感じています。目の利益にとらわれず、長く付き合ってきたJAに対する信頼があるからです。時には価格に不満を感じることもありましたが、過去には価格が安いときにも支えてもらったことがあり、助けられてきました。

昨今の米作りを取り巻く情勢を受け

「なるようにしかならない」と、冷静な心構えを持つようにしています。もちろん不安もありますが、それに振り回されないよう、長期的な視点で農業に取り組んでいます。ただし近年は、肥料や燃料の高騰が続き、これまでの考え方だけでは通用しづらくなっていると感じています。時代に合わせた見直しや備えの必要性も強く意識しています。

新たな取り組み

高温対策として、JAからの提案で高温耐性品種「にじのきらめき」への転換にも取り組んでいます。本格的に栽培を始めて2年目ですが、収量のよさに手応えを感じており、今年は作付けを倍に広げました。また、直播の試験栽培にも挑戦しています。こちらはまだ試行錯誤の連

農業を続ける支え

続で不安もありますが、改善を重ねながら、今後の可能性に期待しています。

規模を大きく、専業農家として農業をやっているのは家族の支えがあつてこそだと実感しています。「やれるだけやってみたら」と妻が背中を押してくれたことをよく覚えています。いまでは妻も直売所へ出荷を始め、夫婦でやりがいを感じながら農業に励んでいます。

JAに期待すること

地域の実情に精通した職員が個人農家にとつての「経営アドバイザー」のような役割を担うことで、後継者選びや引き継ぎもうまくいくのではと感じています。また、資材を調達する際の予約注文や特別奨励など組合員にとって有利な取り組みをしっかりと知らせてほしいです。



毎年好評の「ぶどうまつり」をPR

生産部会紹介

津山ぶどう部会 (津山地域)

概要

地域	久米を除く津山市
部会員	57人
栽培面積	15ha
出荷時期	6月中旬～11月中旬
出荷先	東京・大阪・岡山など
目標出荷量	130t
目標販売金額	2億円

栽培スケジュール

露地ピオーネ

1	2	3	4	5	6
仮せん定・本せん定				芽かき 花穂整形など	ホルモン処理 摘粒など
7	8	9	10	11	12
袋掛け		収穫			

部会長にインタビュー かまどく やすじ 鎌徳 康二 部会長



■部会の特徴は

栽培技術の向上や販売強化を目的に、1971年に発足した歴史ある部会です。ベテラン農家が多く在籍していますが、近年は若手も増えてきており、栽培講習会などを通じて、長年培ってきた技術を引き継いでいます。

■部会の取り組み

約20年前から地域の子もたちに、大切に育てたブドウの味を知ってもらおうと、学校給食に提供しています。子どもたちの喜ぶ笑顔を楽しみに準備しています。出荷が最盛期を迎える9月には、津山市地産地消センター「サンヒルズ」で「つやまふれあいぶどうまつり」を開いています。部会メンバーが消費者と顔を合わせ、自慢のブドウを販売します。昨年は「ピオーネ」「シャインマスカット」や珍しい品種を含め約1tを売り上げました。今年は新しく作ったのぼりやポスターでイベントを盛り上げます。

つやまふれあいぶどうまつり

9月6日(土)9:00～14:00

津山市地産地消センター サンヒルズ前駐車場

農作物の盗難に注意

～盗難防止対策をしましょう～

例年、収穫シーズンになると農作物の盗難が発生しています。被害に遭わないように対策を実施しましょう。また、被害に遭った場合や疑わしい事例があった場合には、迷わず警察に通報・相談しましょう。生産者向けの対策として、園地への侵入を防ぐための「ネットや柵の設置」「防犯カメラやセンサーライトの導入」などが効果的です。

生産者の取り組み



管理の徹底

収穫物は園地に放置せず
に持ち帰る



鍵掛け

ハウス、収穫物の保管庫、
米の保冷库等の施錠を徹底する



整理整頓

脚立や収穫用コンテナを園地からこまめに撤収する



環境整備

園地にネットや柵等を設置し、
侵入しにくい環境をつくる



侵入対策

防犯カメラ、センサーライト等を設置する

警戒中

警戒表示

「盗難警戒中」「立入禁止」等の看板や張り紙を設置する

対策資材の導入や設置についてはお近くの資材店までご相談ください



和牛子牛セリ市況

(JA全農おかやま総合家畜市場)

成績

性別	頭数	最高価格(税込)	平均価格(税込)	平均体重
雌	117	837,100円	577,209円	297kg
去勢	148	895,400円	670,585円	320kg
総合	265	895,400円	629,820円	310kg

※雌、去勢ともに平均価格が前月を上回りました。枝肉価格は下がっているものの、子牛の頭数減少で買い動きの影響が見られました。

直売所出荷者募集 旬感広場「晴れのち晴れ」

旬感広場「晴れのち晴れ」の出荷会員を募集しています。詳しくは下記コードをご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

0866-93-2338(9時～16時)



8つの地区を毎月リレーでつなぎます

新見地区

ママがんばったよ バレーボール大会



7月上旬、第44回バレーボール大会を開き、子育て世代の母親ら部員73人が参加して親睦を深めました。次代を担うフレスシユミズ組織の活性化と仲間づ

くりを進めようと、各支部でチームを編成。今年は4支部から5チームが出場し、一進一退の好ゲームを繰り広げました。近年はメンバーの確保が課題



▲優勝を喜ぶ大佐支部

三吉孝美部長は「気兼ねなく参加できる女性部の活動を次世代につなぎ、組織・地域を盛り上げたい」と意気込みます。

津山地区

J Aや農業を身近に！ 夏の思い出できました



▲個性あふれる芝坊やが完成！



▲カラフルで見た目もおいしいカレー

J Aグループの子ども向け雑誌「ちやぐりん」を教科書に、子どもたちに食と農の大切さを学んでもらおうと、約20年前から地域の親子を対象に「J A親子ちやぐりんフェスタ」を開いています。今回は、草花を身近にふれる体験を通じて豊かな心を育む「花育」にもつながようと、頭の部分が芝になる「芝坊や」づくりに挑戦しました。

昼食には、部員が腕を振るった夏野菜がどっさり入ったドライカレーのほか、県で一番の産地、久米南町のキュウリを丸々使った冷やしキュウリが登場。岡山東地区のイチゴソースで和えたミニトマトのパフェなど、県内各地の特産と旬が学べるメニューに舌鼓を打ちました。



あなたも女性部に入って活動に参加してみませんか 詳しくは

このページに関するお問い合わせは経済部(086-476-1838)まで



新見地区 ほうこう団子づくり 若い世代に伝え、地域を盛り上げる



▲女性部と楽しくほうこう団子をつくりました



▲餅が温かいうちに手際よくあんこを包みます

女性部新見地区のみなさんとほうこう団子を作りました。「ほうこう」とはあぜなどに生える1年草です。もち米やうるち米と混ぜて作る「ほうこう団子」は新見地区の伝統料理で、古くから愛されています。

6月中旬に料理教室を開き、部員や地域住民23人が



さかもと 坂本
広報担当



▲「ほうこう」のさわやかな香りがする逸品です!

笑味ちゃん
天気予報
でも紹介



参加。子どものころに食べたことがある人も多く、「ほうこう団子」にまつわる想い出話に花が咲いていました。

三吉孝美部長は「ほうこう団子」を若い世代に伝えていけたらうれしい。活動を通じて、地域を盛り上げたい」と想いを語ります。

参加者は「楽しかった」「また作ってみたい」とみんな笑顔で締めくくりました。



女性部の活動を紹介
女性部の和やかな
雰囲気が感じられますよ!



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の地域貢献活動

直売所だより

Vol.4

高梁グリーンセンター

おいしいからまた買いたいという声が

栽培意欲につながっています



今月の
出荷者



高梁市津川町今津883-1
営業時間:9:00~17:30
定休日:年末年始
☎0866-22-4158

たい ひであき
田井 秀明さん
(高梁市有漢町)



「自分が育てたブドウを、多くの人に食べてほしい」——そんな想いを持ち、親子3人で栽培に励んでいます。就職して数年後、祖父が病に伏し栽培を続けるのが難しくなったことをきっかけに、「自分が代わりにブドウを作る」と就農を決意しました。ブドウは日々成長するため時間に追われますが、修業だと思い、丁寧に作業に取り組んでいます。

直売所へ出荷して、自分が作ったものが売れたと知ったときは嬉しく、購入された方からの、「ありがとう。また買いに行くね」という言葉がやる気の源です。誠意を持って出荷すれば必ず売れると感じています。

「ピオーネ」と「シャインマスカット」に加え、新たに「クイーンニーナ」の栽培を始めました。来年は3品種を出荷できるよう頑張ります。



びほく地区のトマトはなめらかで皮も食べごたえがあるのが特長です



甘くてみずみずしいブドウが並びます

高梁市は「ピオーネ」の一大産地です。生産者一人ひとりが大切に作った「ピオーネ」は大粒で甘みが強く、毎年購入する人も多くいます。シーズンが本格的に始まる9月には「ブドウ月間」を予定しています。新鮮でおいしいブドウをお手頃価格で販売する予定ですので、ぜひ直売所に足を運んでください！

私の
これがオススメ！



わたなべ きょうすけ
渡邊 恭輔 店長



東京都中央卸売市場大田市場でモモとブドウをPRする内藤組合長(左から2番目)ら

「JAはモモとブドウの2品目を重点振興品目に設定し、県内各地からリレー出荷を行い、今年度は全体で、モモ13.7億円、ブドウ79.2億円の販売高を目指します。」

「今年度は県内でモモとブドウの栽培が始まって150年の記念となる年。内藤敏男組合長は「長きにわたる生産者のたゆまぬ努力が、『くだもの王国おやかま』を築きあげてきた。消費者や市場からも高い評価を得ており、今後も産地の面積拡大と担い手の確保に取り組み、『農業所得の増大』につながる」と話しました。

7月上旬、県とJA全農おやかまとともに、特産のモモとブドウの本格出荷に合わせて東京・大阪・岡山の市場でトップセールスを行いました。夏のギフト需要を見据えて市場関係者

らに試食品を配り、食味がよく高糖度に仕上がった果実をPRしました。今年には県内でモモとブドウの栽培が始まって150年の記念となる年。内藤敏男組合長は「長きにわたる生産者のたゆまぬ努力が、『くだもの王国おやかま』を築きあげてきた。消費者や市場からも高い評価を得ており、今後も産地の面積拡大と担い手の確保に取り組み、『農業所得の増大』につながる」と話しました。

8 働きがいも経済成長も



3市場でトップセールス モモ・ブドウ栽培150年



グループワークで活発に議論する参加者

8 働きがいも経済成長も



協同組合を再認識 初の理念研修会

JAグループ岡山は7月初旬、初めてとなる協同組合理念研修会を開きました。

2025年は「国際協同組合年」であることを受け、協同組合の存在意義などを再認識し、国民に発信する好機と捉え開催。当JAのほか、JA岡山・JA全農おやかまなどの役員214人が参加し、「どんな人材を育てたいか」「具体的に何をするか」をテーマに活発に議論しました。職員は「協同組合の存在意義を考えることができた。明るい職場づくりに努めたい」と話しました。

ミントマトとナスを収穫する学生
くらしき作陽大学食文化化学部の学生は、学内の畑でJA営農指導員を講師に、1年を通してさまざまな野菜の栽培を学んでいます。植え付けから栽培管理と収穫まで実習し、食と農・地産地消への理解を深めます。
7月上旬にはエダマメ・ミントマト・ナスを収穫。学生は「農業が体験できて楽しい。育てた野菜を味わいたい」と話しました。今後は白ネギや葉ダイコンを栽培します。



17 パートナシップで目標を達成しよう



大学生が野菜づくり 農を学び食を知る

9 産地と技術革新の発展をつくろう
**アスパラの増収へ
新しい技術を共有**

勝英アスパラ部会は、昨年から10アあたり2t以上の収穫量を目指す「2t塾」を開いています。

年4回、生産者同士がほ場で情報を交換し、技術を共有します。7月上旬にはつやまアスパラガス部会の生産者のほ場を訪れ、株の補植技術を学びました。参加者は「収量増大につながるような新しい方法を検討していきたい」と話します。



ほ場で新しい技術を学ぶ部会員

9 産地と技術革新の発展をつくろう
**低標高地でリンドウ
産地拡大へ実証**

奥津花卉生産組合は、低標高地でのリンドウ実証栽培を始めています。鏡野



順調に生育したリンドウ

町南部での栽培を確立し、産地拡大を目指します。

同組合員の宗本堅さんは、適地とされる350〜400㍓より低い標高150㍓のほ場で、2023年に栽培を開始。昨年からは出荷を始めました。高温による病気や生理障害が現れたものの、発色もよく順調に生育が進んでいます。

JJA担当職員は「栽培希望者は多く、低標高地での技術が確立すれば栽培を勧められる」と展望します。

9 産地と技術革新の発展をつくろう
**「ピオーネ」出発
ハウス栽培順調**

高梁市で7月上旬、ハウス栽培の「ピオーネ」の出荷が始まりました。今季は順調に生育し、大粒で色づきもよく高糖度に仕上がりました。9月頃から主

力の露地物が本番を迎えます。
JJA担当者は「生産者一人ひとりが丹精を込めて作っている。ぜひ手に取ってほしい」とPRします。



初荷として大阪市場へ送られた「ピオーネ」

12 つくも責任 つかう責任
**例年以上にのびのびと好評
各地でもモモ販売**

各地の直売所は最盛期を迎えたモモの即売会を開きました。今季は天候の影響で小玉傾向ですが、糖度が高く甘いモ



多くの人が列をなした旬感広場での「白桃フェス」

モに仕上がりに、購入者からは「例年以上にのびのび」と好評でした。

同月下旬には旬感広場で「白桃フェス」を開き、約3000人が旬の味覚を買い求めました。イベントには特産の「なぎびり」®、「備中牛」®、「美星満天豚」®の串焼きの屋台も並んだほか、来場者には国産国産のチラシと県産里海米を配布し、農業への理解を呼びかけました。

8 無事がいも 経済成長も
**職員がビジョンを語ろう
「JJAの未来ミーティング」**



ホワイトボードを囲んで意見を交わす「ワイガヤミーティング」で課題解決に向け意見を出し合った

組合員から喜ばれる組織づくりを目指し、人材育成に力を入れています。支店長・窓口リーダー・渉外・営農指導員など6職種に分け、新たにそれぞれの課題に向き合う「JJAの未来ミーティング」と名付けた取り組みを始めました。7月



幻想的な桃園

(赤磐市鴨前)

夜の桃園に黄や緑の明かりが灯る(赤磐市で7月22日撮影)

赤磐市のモモの生産団地で収穫期のモモを害虫から守る「防蛾灯」の光が浮かび上がり、夏の夜に幻想的な風景を作っています。熟れ頃の果実に深刻な被害をもたらす夜蛾の対策として、岡山東モモ部会山陽支部が産地ぐるみで設置。6月下旬から9月上旬の収穫期に日暮れから明け方まで黄や緑の明かりが灯ります。

夜蛾は袋を掛けた上からでも果汁を吸い、収量や品質

の低下を招き、農家手取りに影響を及ぼします。部会は県や市、JAと一体となり、補助金を活用した防蛾灯の導入を推進。その効果はてき面で、防除作業の軽減や環境に配慮した栽培にもつながっています。

農家は「夏の風物詩として子どもの頃から続く風景になっている。モモのシーズン到来に思いをはせてほしい」と話しました。



イエローダイヤモンドをPRする
JA全農おかやま(左)、当JA職員

JAが真庭地区で特産化を進めるスイートコーン「イエローダイヤモンド®」の生産者が、「瀬戸内かきながらアグリ」事業の取り組みを始めました。瀬戸内の牡蠣殻を地元で有効利用して循環型のアグリ事業に挑戦。他産地との差別化を図ります。

7月下旬には真庭市の道の駅で、JA

13 令和5年度に
具体的な対策を
里海野菜で環境に貢献
イエローダイヤモンドPR

山部慎一専務は「一つの区切りとなる合併10年まであと少し。合併してよかった、よい組織に変わったと組合員に感じてもらえる組織にしたい」と述べました。

中甸には、倉敷市で支店長8人が参加し、初めてのミーティングを開催。課題を自分事として捉え、解決に向け、意見を出し合いました。



井原ブドウをPRする西田部会長

8 働きがいも
経済成長も
甘く育った井原ブドウ
「晴れのち晴れ」でも販売

全農おかやまと協力し、イベントを開きました。来店者に牡蠣殻を施肥して育てた「イエローダイヤモンド」と新しい食べ方をPRしました。

井原市ぶどう部会のハウス栽培の「ピオーネ」の出荷が7月末に最盛期を迎え、8月下旬からは露地ブドウの出荷が始まりました。好天の影響で今年も果皮の色が濃く、甘みの強いブドウができています。より多くの人へ届けたいと、旬感広場「晴れのち晴れ」でも販売を始めました。

同部会は青野町を中心とした井原・芳井・美星の3支部からなり、標高差をいかした品種・作型の組み合わせによる長期出荷が特長です。部会員193人が72畝で栽培し、岡山・大阪・四国・九州へ出荷します。

西田倫久部会長は「香りがよく、甘くておいしい井原のブドウを味わってほしい」とPRします。

ダイコン

監修



蒜山
アグリセンター

みまき つとむ
三牧 努

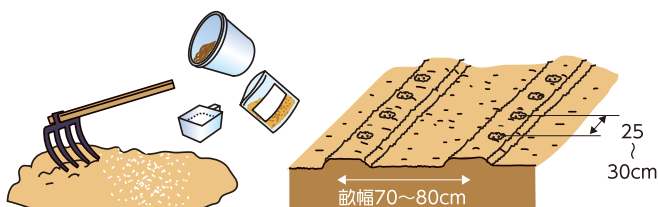


種まき：9月
(生育適温20度前後)
収穫期：11～12月

ダイコンのピリッとした辛みはイソチオシアネートで食欲を増進します。消化酵素のジアスターゼは胸焼け・胃もたれを解消してくれます。葉にはビタミンC・葉酸・カルシウムと食物繊維が豊富。新鮮な葉も利用しましょう。

1. 畑の準備

根の下に障害物があると枝根や曲根のもとになります。

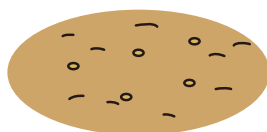


畝は排水がよく耕土の深い畑では平らにします。耕土の浅い畑は高畝を作ります。

1㎡あたり	
苦土石灰 100g	①「野菜の肥料」 100g

畑全体によく混ぜる

2. 種まき



まき床にくぼみを付け、1カ所
5～6粒まく

株間25～30cm

3. 間引き

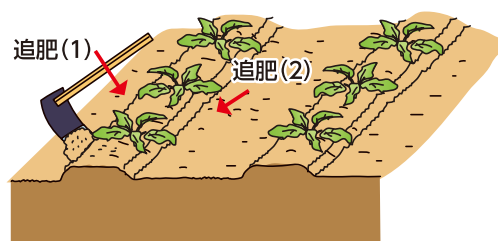


(1) 1回目は本葉1～2枚のときに、
子葉が不整形な株、葉が重なる
株を抜き2～3本を残す



(2) 2回目は本葉4～5枚の頃、
しっかりした株を1本残す
(株定め)

4. 追肥・土寄せ



- (1) 1回目は株定めの後に畝の片側に
施し土寄せする
(2) 2回目は本葉10枚くらいのときに
反対側に施し土寄せする

1㎡あたり

②「化成肥料14-14-14」
50g

5. 病害虫の防除

小さいときの害虫の被害は影響が大きいため、初期防除に重点を置きます。アブラムシ・コナガなどには虫よけネットを被覆します。また、土壌施用農薬「プリロソ®粒剤オメガ」を植穴に1～2g入れて種まきし、予防します。

6. 収穫



青首ダイコンは首の太さが8cm、
重さ1kgくらいが収穫適期

若取りして若い葉も利用しましょう。

バックナンバーは
こちら！



■
おすすめ
資材

① JA 晴れの国岡山 オリジナル野菜の肥料

窒素・リン酸・カリに加え、微量
要素をバランスよく配合し、野菜
の元肥・追肥に幅広く使えます。

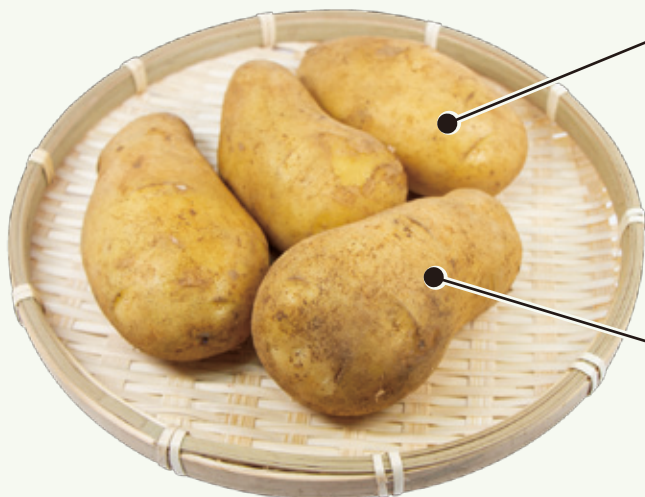


② 化成肥料14-14-14

野菜・果樹・花など幅広く使
えます。高成分なので少量投
入で経済的です。



ジャガイモ



● 見分け方

ずっしり重みがあり皮が薄く、色が均一でシワや傷がないものがよいです。

● 主な栄養成分

ビタミンCが豊富です。ジャガイモのビタミンCは熱に強く壊れにくいので加熱調理におすすめです。

／ ジャガイモを使って1品 ／

アコーディオンポテト～豆乳みそソース添え～

材料／2人分

ジャガイモ(メイクイン) … 1個(約130g)
ズッキーニ … 25g
ミニトマト … 3個
ベーコン(ハーフ) … 1枚
ブロッコリー … 25g
ピザ用チーズ … 8g
ブラックペッパー … 少々

豆乳みそソース

豆乳 … 30ml
みそ … 小さじ4分の1
米粉 … 小さじ1
シメジ … 50g
ツナ缶(油漬) … 35g

🕒 **調理時間** 15分 ※1人分あたり

🔥 **エネルギー** 157kcal 🧂 **塩分** 0.5g

🥬 **野菜摂取量** 約80g(1日の目標野菜摂取量の約5分の1)
※ジャガイモを除く

つくりかた

●豆乳みそソースのつくりかた

- ① シメジは石づきを取ってほぐし、ツナ缶は油をきる。
- ② 豆乳でみそを溶き、米粉と①を入れ、しっかり混ぜ合わせる。
- ③ ②を耐熱容器に入れ、ラップをして500Wの電子レンジで1分加熱する。
- ④ ③を再度混ぜ合わせ、さらに30秒加熱する。

●アコーディオンポテト

- ① ジャガイモは洗って芽をとり、皮のまま約5mm幅の蛇腹切りして水にさらす。(菜箸などでジャガイモを挟み、下まで切り落とさないようにする。下から約1cm程度はつながるように残す)
- ② ベーコンは6等分に切る。
- ③ ズッキーニは約3mm幅の輪切りにする。
- ④ ミニトマトは半分に切る。
- ⑤ ブロッコリーは一口サイズに切り、ラップをして500Wの電子レンジで30秒加熱する。
- ⑥ ①の水気を取り、ラップをして500Wの電子レンジで約5分加熱する。
- ⑦ ⑥の切り口に②と③を一枚ずつ挟む。
- ⑧ 耐熱容器に⑦と④⑤を乗せ、豆乳みそソースをかける。
- ⑨ ⑧にピザ用チーズをのせ、トースターで焼き色がつくまで約10分焼く。
- ⑩ ⑨にブラックペッパーをふりかける。

蛇腹切りのジャガイモに豆乳ソースがよく絡み、見た目も華やかです。食卓を彩る一品です。



おがみ

くらしき作陽大学 食文化学部栄養学科 小上ゼミ 考案



理事会だより 令和6年度ち米追加払いほか

令和7年度7月期理事会を7月28日に開き、次の事項について審議し、承認されました。

【附議事項】第1号議案：「びほく統括本部」支店の再編（川上支店を令和8年2月28日に成羽支店へ統合）／第2号議案：「びほく統括本部」車輛・農機センターの再編（北房以外の農機センターを現高梁車輛センターへ統合し、高梁農機センター（仮称）とする。高梁車輛センターを現賀陽農機車輛センターへ統合し、賀陽車輛センター（仮称）とする。令和8年2月28日に再編）／第3号議案：計量法改正に伴う計量設備の更新／第4号議案：「岡山東統括本部」瀬戸ライスセンター機械装置の更新／第5号議案：令和5年度米穀最終精算（麦）／第6号議案：令和6年度ち米追加払い（関連記事は本誌3～5ページ、詳細は出荷者へ個別通知）／第7号議案：「組合員・利用者さま本位の業務運営に関する取組方針（FD取組方針）」の変更（ホームページで公表）／第8号議案：出資口数の減口（組合員の申し出による）

【報告事項】令和7年度6月末事業実績／リスク管理委員会報告（相談・苦情・事務ミス等・反社会的勢力等排除対応・管理先対応状況（令和7年度第1四半期）・マネロン等の防止にかかると対応状況（令和6年度3月末）・不祥事再発防止策にかかる6月の取り組み）／「岡山東統括本部」佐伯支店経済店舗の廃止及び営農経済事業所の名称

変更／ALM委員会報告／JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項／その他①【津山統括本部】桑谷発電所発電再開

店舗コードが変わります 再編で赤磐支店オープン

8月25日（月）、岡山東地区で店舗を再編し赤磐支店がオープンしました。これに伴い、店舗コードが変わりました。あわせて同住所に「赤磐アグリセンター」と「晴ればれ赤磐店（資材店舗）」がオープンしました。詳しい内容は下記のコードからご確認ください。お近くの支店などへお問い合わせください。

【店舗情報】

住所：赤磐市五日市55番地

赤磐支店

TEL：086-955-1221

赤磐アグリセンター

TEL：086-955-2077

晴ればれ赤磐店（資材店舗）

TEL：086-955-8111

農家ご家族のみなさまへ 正組合員になりませんか

お申し込み・お問い合わせはお近くの支店まで。※資格要件を満たし、JAで承認後に正式加入となります。組合員の詳しい内容は下記コードをご覧ください。



国税の質問などは事前に予約を 税務署からのお知らせ

国税に関するご質問・ご相談は事前

予約をお願いします。来署によるご相談を希望される方は、お電話で事前に相談日時などを予約していただいた上で、所轄の税務署において相談を受け付けています。※予約の際には、お名前・ご住所・ご相談内容などをお伺いします。お近くの税務署は下記コードからご確認ください。



筋肉のコリでお悩みのあなたへ 着るだけで回復「リライブシャツα」

<男女兼用> リライブシャツα



ホワイト

ブラック

リライブスパッツα



メンズ

レディース

今話題の「リライブシャツ」

着るだけで筋肉のコリ改善・疲労回復・血行促進など効果が期待できます

テープに練り込まれた鉱石トルマリンで血行促進や、間接テーピング技術でストレッチ効果など肩・腰のコリに悩む方はぜひお試しください。肩こりにはシャツ、腰痛にはスパッツがおすすです。お買い求めはお近くのJA経済店舗まで。

LINE
メンバーズカード

広報誌を読む
獲得ポイント数 **1ポイント**

こちらのコードを読み込んでポイントゲット！⇒

ポイントを
ゲットしよう！

©ソラとサン

もれなく **30ポイント**貯まったら
JA晴れの国岡山のオンラインショップで
「特産品」が
お得に買える **クーポン進呈！**

詳しくは
ホームページを
ご覧ください。

**いざ、
国勢調査！**

インターネット回答で
かんたん便利に！

5年に一度、全農参加の統計調査

国勢調査2025

調査期日 **10.1** 水

※実施調査もよった詐欺（迷惑）や不正な調査にご注意ください。

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025 検索

総務省統計局・都道府県・市区町村





2025年

8月・9月は

JAカード
限定

対象のJA直売所でJAカードをご利用いただくと

10%
ご請求時
割引!

〈対象期間〉

2025年8月1日(金)～9月30日(火)

※一部対象外の店舗・施設や商品・サービスがございます。

まだJAカードをお持ちでない方は今すぐご入会!

JAバンク口座をお持ちの方は

WEBから

<https://www.jacard.cr.mufig.jp/ad/lsst/>

JAバンク口座をお持ちでない方は

アプリから

口座開設と同時に
カンタン手続き<https://www.jabank.jp/ja/appplus/>お近くのJA店舗で直接
お申し込みいただけます。

店舗で



※アプリでのお申し込みは一部お取扱いをしていないJAがございます。

※JAカードのご入会には別途審査がございます。

■特典の詳細はこちら

<https://www.cr.mufig.jp/jafarmmarket2025/>

※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは本特典の対象外です。

※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等での支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。

※本紙記載の情報は2025年4月時点の内容です。特典については予告なく終了や内容の変更を行う場合がございます。

2025年度 JAの巡回人間ドック(健診)のお知らせ(10月)

地域の方を対象にした健康診断を実施します。ご希望の方は3週間前までに各お問い合わせ先にお申し込みください。

実施月日	統括	会場	開始時間	お問い合わせ先	
2日(木)	びほく	川上支店	9:00	川上営農経済センター	0866-48-2007
3日(金)	岡山西	鴨方支店	8:30	鴨方支店	0865-44-2111
10日(金)	新見	新見生活センター	9:00	新見基幹アグリセンター	0867-72-3134
15日(水)	津山	美咲町三保公民館	8:30	中央支店	0868-66-1107
17日(金)	真庭	八束老人福祉センター	9:00	蒜山アグリセンター	0867-66-2520
20日(月)	岡山西	清音支店	8:30	清音支店	0866-94-0021
22日(水)	津山	柵原農業総合管理センター	8:30	柵原支店	0868-62-1151
23日(木)	岡山西	玉島北支店	8:30	玉島北農産資材店	086-522-2153
27日(月)	津山	よりそいプラザ津山北	9:00	よりそいプラザ津山北	0868-27-0006
30日(木)	びほく	北房文化センター	9:00	北房営農経済センター	0866-52-4888

読者のみなさまから
お寄せいただいた
イラストやお便りなどを
ご紹介!!



大玉のトマトが8個もできました!
備前市・K・Nさん



新見市・串馬敬子さん



鏡野町・杉井 秀子さん



中学生の娘が作った羊毛フェルトのトイプードルです
倉敷市・ねこさん

▼8月号の若手生産者の記事に心を打たれました。広島市から新見市に移住してブドウ栽培をしていることを知り、心が温かくなりました。
倉敷市・よもぎ団子さん(60代)

▼広報誌をいつも楽しみにしています。掲載されている直売所をめぐるのが好きです。
井原市・のりまるさん(40代)

▼広報誌を読んでいると、農業が身近に感じられ、内容が分かりやすく、色々学びになります。頑張っている生産者の姿を通して、私も元氣や勇氣をもらっています。
津山市・柴田 美紀さん(50代)

▼広報誌をいつも楽しく読んでいます。生産者や地域の方々の笑顔の写真が魅力的でほっこりします。
美作市・かき氷さん(30代)

▼広報誌5月号に掲載されていた奈義町の浅野さんの写真、きれいな花を多くの人にらせてくださりありがとうございます。よければ何の花か、詳しく教えてほしいです。
吉備中央町・北野 恵祥さん

あぜみち川柳

ピーマンもナスも出来たよプランター
三毛猫おばさん

畑仕事 一番がんばる 米寿の爺
ひささん

秋なしに 冬が来るのか この猛暑
みっちゃん

夕暮れは 畑忙しく 真夏日よ
ヨタヨタばあちゃん

太陽に 背中押されて 草を取る
瀧口 静子さん

水やりを 夕立助くる 今宵幸せ
後藤勝子さん

カラス鳴く 朝一番に 畑みる
盛永英子さん

テーマ

日頃の農作業で感じる想い、家庭菜園や直売所の楽しみやエピソード、農の風景など。

※作品は楷書で書いていただき、漢字にはふりがなを、ご記入ください。

みなさまからの「写真」「イラスト」

「お便り」「川柳」を

大募集しています。

ご意見・ご感想もお待ちしております!!



とびきり フェイス!

子どもたちの「食と農」の体験を
笑顔とともに紹介します

袋を掛けたときは

梅干しくらい小さかったのに

こんなに **大きく育ったよ!**



自分で袋掛けしたモモを収穫しました(岡山市立千種小学校)

各SNSでも旬な情報を発信中!! //



国際協同組合同年

協同組合はよりよい世界を築きます

2025年は国際協同組合同年です

晴ればれ

vol.65 2025年9月号

発行 晴れの国岡山農業協同組合 〒713-8113 倉敷市玉島八島1510番地1
編集 企画課 TEL.086-476-8092 <https://www.ja-hareoka.or.jp/>
発行日 2025年9月1日発行(毎月1日発行)

ホームページ
随時更新中!!



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。

